



「かがわヒノキ」を使って未来に“わ”をつなげよう

生活も環境も豊かになる木材活用の“わ”を広げよう

「かがわヒノキ」をはじめ、香川県で育った木は家具や玩具などの木製品、家やお店といったさまざまな建物に使われています。



小物製品

レーザー加工によって製作された「かがわヒノキ」等の木工雑貨。経年変化も味わい深く、長く愛用する楽しみがあります。

写真上:「かがわヒノキ」の小物入れ
写真下:「かがわヒノキ」の名刺ホルダー



玩具

「かがわヒノキ」等の県産木材を使ったおもちゃ。まんのう町では町産のヒノキ材等を使用したおもちゃを製作し、町内に住む1歳児に配布しています。



インテリア

「かがわヒノキ」のテーブルや椅子等の家具が製作されています。温かみを感じられる「かがわヒノキ」の家具は贈り物にも最適です。

写真:「かがわヒノキ」を使用したスツール

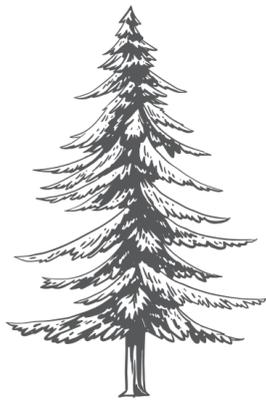


日用品

県内の建具やお箸の製造にも「かがわヒノキ」等が利用されています。

写真上:「かがわヒノキ」のウッドスピーカー
2025かがわ県産品コンクール優秀賞受賞
写真下:「かがわヒノキ」の「よ〜いどん箸」
かがわマラソン2026の参加賞

木製品



広葉樹の家具

県内の森林の6割を占める広葉樹を家具用材として利用する取り組みが進んでいます。樹種によって表情が異なるのも木製品の魅力です。

写真:県内産広葉樹(クス)を使用したダイニングテーブル

「かがわヒノキ」の家

かねての家



伝統的な日本の住まいの手法を採用することで、木材利用と親和性の高い空間を実現。木目が細やかで美しい「かがわヒノキ」の柱を最大限に活かすため、室内はあえて柱を隠さない手法を採用しています。

じいちゃんが植えた木の家



50年前に祖父が植えた「かがわヒノキ」を孫家族の住宅に活用しています。使用している木材は木の特質を活かす天然乾燥を行い、できるだけ住空間から「かがわヒノキ」が見えるような工夫がされています。

林田の家



木目の印象が異なる「かがわヒノキ」を効果的に配置することで、メリハリの感じられる木の空間になっています。大黒柱となる「かがわヒノキ」は、実際に施主が山に入って伐採に立ち会っており、自然や林業家、設計士とのつながりを実感できる家づくりがされています。

知の香の家



「かがわヒノキ」の芳香成分に着目した新しい提案を行った建築物です。360度「かがわヒノキ」に囲まれたトリート空間を住まいに取り入れることで、その香りが集中力とリラックス効果をもたらします。



香川県立アリーナ

武道施設の壁、観客席、床にしなやかで強固な「かがわヒノキ」を採用。また、サブアリーナの壁にも「かがわヒノキ」が使用されています。

〒760-0019 香川県高松市サンポート6-11
【開館時間】9:00~21:00
【定休日】第3木曜日



讃岐おもちゃ美術館

館内の随所に香川県産木材が使われています。「かがわヒノキ」で作られた玩具やシンボルツリー、東かがわ市の広葉樹の柱など、たっぷり香川の木に触れることができます。

〒760-0042 香川県高松市大工町8-1
【開館時間】10:00~16:00(最終入館15:30)
【休館日】木曜日
【入館料】大人900円 子ども700円
(中学生以上) (6カ月~小学生)

トランキーロタコス

父母ヶ浜沿いにあるメキシカン料理のカフェ&レストラン。香川県産木材をふんだんに用いた店内は、明るく開放的で温かな雰囲気があります。



〒769-1404 香川県三豊市仁尾町仁尾乙266-15
【営業時間】平日 11:00~15:30
土日祝 11:00~17:00
(季節によって変動)
【定休日】不定休

かがわの木に触れてみよう

香川県産木材の情報はこちら

Instagram



HP



50年の時を越え、育まれた

かがわヒノキ

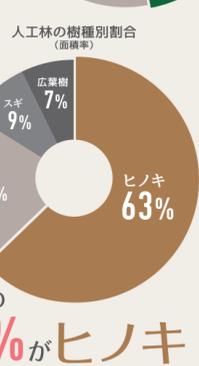
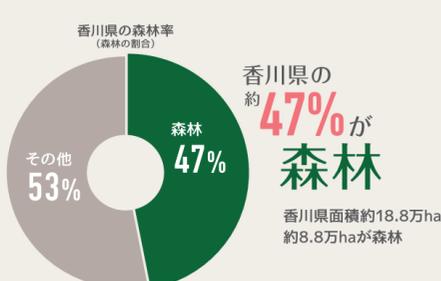
香川県では古くからマツを中心とした植林が行われてきましたが、昭和40年代後半からマツが枯れてしまう松くい虫の被害が広がったことで、その跡地に温暖な気候に適したヒノキを植林するようになりまし。昭和40年代後半から50年代に植えられたヒノキは、50年を経て、住宅の柱に使えるほど立派に成長しています。健全な森林を保持し、限りある資源を活用するには、木を伐って使って、植えて、育てるという循環が必要です。人と自然が紡いできた「わ」を守り、豊かな環境を次世代へ伝えましょう。



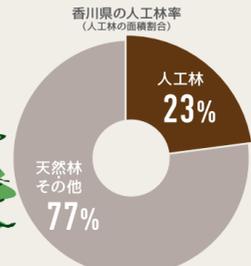
かがわの森

木材の地産地消は環境を守ることにつながります

人工林は人の手入れが行き届かず放置されると、太陽の光が地面に当たらず、植物も動物も育たない荒れた森になります。県産木材を使い森林の循環を保つことで、森林は多面的な機能を発揮することができます。



森林の約**23%**が人工林



人工林の約**63%**がヒノキ

森林の機能

●土砂崩れを防ぐ

樹木の根が張り巡らされた森林の土壌では、雨による浸食が抑えられ土砂崩れを防ぎます。また、不純物を土壌が保留したり植物が吸収したりと、水質の浄化作用もあります。



●地球温暖化防止に貢献

森はCO₂を吸収し、酸素を放出して成長します。木は年を重ねることでCO₂の吸収量が低下するため、伐採・植林のサイクルを行うことはCO₂削減にもつながります。



●暮らしを豊かに

森林には様々な動物や植物が生息しています。人にとっても森林浴などのレクリエーションや体験学習、景観・文化形成などにおいて密接に関わっています。



かがわの木

香川県産の木で温かな暮らしの「わ」を築こう

軽くて扱いやすい割に強度がある木材は古くから建築資材として使われてきており、断熱性、調湿性、リラククス効果をもたらす香りや感触などの特徴があります。住宅建材に使用したり、生活空間に取り入れられたりすることに繋がります。

香川県産の木材

広葉樹



コナラやアバマキ、クヌギなどの広葉樹は県内の森林全体の半分以上を占めています。家具や木の器、薪などに活用されています。



かがわヒノキ



少雨の気候の中、讃岐山脈の北側で長い時間をかけてゆっくり成長するため、年輪が均等で歪みが少なく加工しやすい住宅資材といわれています。



〈木材にはこんな効果が〉



●手に馴染む自然素材
 木材は熱伝導率の低さから高い断熱性と保温効果があり、衝撃を緩和する性質もあります。



●やさしい香り
 木の香りは心身のリラククスを促し、ストレス減少、良い睡眠への効果も期待できます。



●清潔でクリーンな空間
 木造建築物はコンクリート造りの建築物と比較してダニやカビ類の繁殖を抑える効果があることが分かっています。



●子どもの心を豊かにする木育
 木の温もりや香り、音などが五感を刺激し、子どもの感性や創造性を育みます。